

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 橿原市立今井小学校

① 学習指導案

プログラム	No.8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全20時間)	わたしたちのふるさとを守る
学習のねらい	地域にある歴史的建造物について調べ、自分たちの住む町のよさに気づき、ふるさとを誇りに思う気持ちを育てる。
学習内容	1 今井町に行き歴史的建造物の写真を撮る 2 撮ってきた写真を基に写生する 3 調べたい重要文化財を決め、写真を撮ったりインタビューをしたりする 4 聞いてきたことをまとめ、発表する
参考資料	今井町パンフレット
準備品	Ipad、画用紙、模造紙
実施場所等	今井町、5年教室

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2時間	・今井町にある歴史的建造物の中から自分が描きたいものを選び、Ipadで写真を撮る。	・角度によって雰囲気が大きく変わることを伝えたり、それぞれの建物の特徴を伝えたりする。	主体的に活動に取り組んでいる (観察) 自分が描きたい建物を選び、工夫して写真を撮っている (観察・写真)
6時間	・撮ってきた写真を基にして画用紙に絵を描く。	・一点透視図法や色の使い方を指導する。 ・昨年度までに描いたものを用意し、良いところを参考にするよう伝える。	自分が描きたい建物を自分らしく表現している (観察・絵)
6時間	・調べたい重要文化財を決め、写真を撮ったり、地域の方にインタビューをしたりする。	・今井町の歴史について簡単に説明する。 ・訪問時のマナーを指導する。	主体的に取り組む、より深くふるさとについて知ろうとしている (観察)


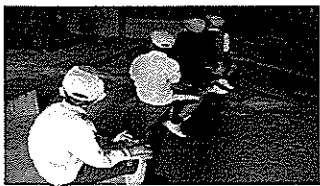
6時間	・聞いてきたことや撮った写真を使ってまとめ、クラスや6年生に向けて発表する。	・すべてを発表するのではなく自分たちが伝えたいことをまとめるようにする。 ・相手に伝わりやすいような表現を使うようにする。	聞いてきたことをまとめ、聞く人がわかりやすいようにまとめている (観察・発表)
-----	--	--	--

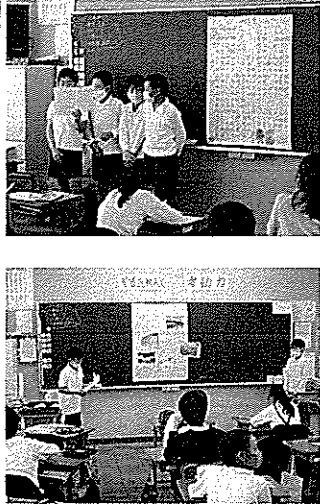
<留意点>

- ・地域へ出て活動するため、他の方々に迷惑をかけないようにする。
- ・インタビューや写真撮影の際にはマナーを守るように十分指導しておく。

② 事業実施報告書詳細

学校名 檀原市立今井小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2時間	今井町	今井町にある歴史的建造物の中から自分が描きたいものを選び、ipadで写真を撮る。		普段から通っている道でも、気づかないことがたくさんあり、新たな気づきがたくさんあった。
6時間	教室	ipadで撮った写真を一人ずつ印刷し、細かいところもしっかりと見ながら写生する。		例年は現地で写生しているが、密になるところも多いため、写真を使った。昨年、自分が描いたものと見比べて成長したことに喜びを感じていた。
6時間	今井町	今井町内にある国指定重要文化財の中から、自分が調べたい重要文化財を決め、写真を撮ったり、地域の方にインタビューをしたりし、ふるさとがどのような		なかなか見ることができないものを見せてもらったり、知らないことをたくさん知ることができたりした。地域の方と関わる

		に守られてきたのかを知る。		ことができ、貴重な時間となった。
6時間	教室 体育館	聞いてきたことや撮った写真を使ってグループごとにまとめ、クラスや6年生に向けて発表する。		グループで相談しながら模造紙にうまくまとめることができた。子どもたちに「これからは自分たちがふるさとを守っていこう」という気持ちが芽生えた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>写真やインターネットのみで調べるのではなく、実際に現地に行くことで地域との関わりを実感できるようにした。また、感染症対策を徹底し、全員が重要文化財の見学ができるように班編成をした。最後は多くの人に知ってもらえるように、6年生に向けて発表したり、掲示物を参観の際に見てもらったりするなど、発信する機会を多く設けた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>単学級のため、必然的に教員も少ないため、引率の人員確保や、時間の調整に苦労した。また、すべての重要文化財に連絡したが、コロナの影響により、受け入れていただけるところが少なかったので班編成に苦労した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分たちの地域のことであるため、全員が興味を持ち、主体的に活動できた。町の景観を守る人々の思いなど、初めて知ったこともたくさんあり、自分たちの住むまちはこんなにも歴史が深いんだなと感じている児童がたくさんいた。「この町は自分たちが守っていこう」という意見がたくさんあがり、よりふるさを大事にする気持ちが高まったように思う。この学習を生かして、次年度は町並み保存について深く考えてもらいたい。</p>

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

地域の方との関わり大切に気付くことができた。とてもいねいに教えてくださり、いつも子どもたちのことを考えていただいているなど感じた。これからも地域の方々と協力して子どもたちを育てていきたい。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

現地へ行くときの人員確保や、地域の方との打ち合わせ時間の確保などが今後の課題として挙げられる。これからも各学年に応じて地域の学習を続け、ふるさとの素晴らしさ、大切さに気づけるような活動をしていきたい。